

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部企画ご案内

第4回医院経営研究会

職員採用時の留意点

～求人のポイントにも触れて～

日時 2月18日(土) 14時～16時

会場 じばさんびる 401 会議室

(JR姫路駅より南に徒歩1分、
姫路市南駅前町123、TEL 079-289-2832)

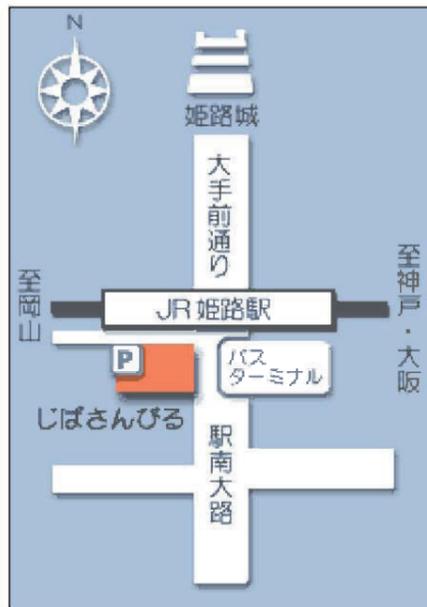
参加費
無料

講師 社会保険労務士・産業カウンセラー

嶺山 洋子先生

対象 院長、家族、事務長
(採用担当者)

会場地図



今回の医院経営研究会も、前回ご好評頂いた、仲間として働くスタッフを採用するための面接と求人ポイントを、経験豊富な嶺山先生にアドバイスをいただきます。スタッフとともに、より良い医療機関をめざすために、気軽にご参加ください。

FAX 078-393-1802

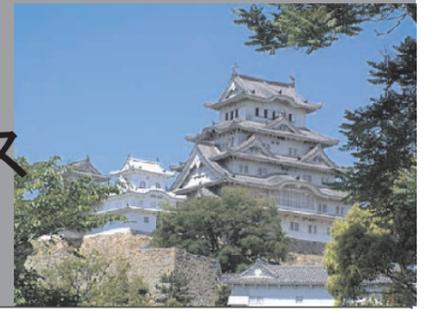
2月18日 姫路・西播支部 医院経営研究会

参加()名
地区() 医療機関名()
氏名() (院長 ・ 家族 ・ 事務長)
TEL () FAX ()

お問い合わせは、協会事務局栗山、沖野まで
(TEL 078-393-1807、FAX 078-393-1802)

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No. 229 2017年1月5日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

新年のごあいさつ

姫路・西播支部支部長 宗実 琴子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、姫路・西播支部下の全市町で中学生までの子どもの医療費無料化が実現しました。無料化を訴えてきた協会の運動が実を結んだものであり、大変うれしく思います。ただ、対象者には所得制限があります。お金の心配なく、だれでもいつでも安心して受診できる制度となるよう改善を求めています。



今年も、恒例となった西播5市6町を訪問し自治体の首長や担当者と懇談する「自治体キャラバン」を西播社保協と協力して実施し、介護や子育て支援の改善など、働きかけをしていきたいと考えています。

安倍政権発足後に支部で始めた憲法学習会では、改正が国会で議論されている日本国憲法について、自民党の改憲草案も合わせて、弁護士さんを講師に招いて学習を行い、昨年9月、全条項の学習を終えました。みなさまも改憲・護憲に分かれて議論を始める前に、現行の平和憲法について、いま一度お読みになっていただきたいと思っています。

今年兵庫県では県知事選挙が予定されています。兵庫県は、低所得高齢者対象の医療費助成を縮小させようとしています。社会保障の拡充へ向けて、国政だけでなく県に対しても、私たちは声を上げていかなければと感じています。

昨年は支部企画として映画の上映会、医療安全管理研修会、憲法学習会、バスツアーなどを行いました。今年も支部では、会員各位のご意見をお聞きしながら、医院経営研究会など様々な企画を行う予定です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

他科を知る会を開催

技術革新による眼科医療の進化学ぶ

姫路・西播支部は11月19日、姫路キャッスルグランヴィリオホテルにて、支部学術研究会「他科を知る会」を開催した。ツカザキ病院眼科部長の長澤利彦先生が、「技術革新が支える眼科医療」をテーマに講演し、医師・歯科医師ら3人が参加した。

(後日、兵庫保険医新聞に抄録を掲載予定)



講師を務めた長澤利彦先生

長澤先生は、白内障手術における眼内レンズの進歩により、80年代には10mm程度だった切開創が、現在は2mmまで小さくなり術後乱視も著しく改善したことや、硝子体手術における硝子体カッターと眼内照明の向上により、侵襲が軽減したことを紹介し、医療技術の向上が眼科医療の向上に大きく寄与していると説明した。また、モザンビークへ医療支援をした自身の経験から、無医村に住む住民が、「病気診断スマホアプリ」を活用しトリアージを行っている工夫を紹介した。参加者の感想文を紹介する。

感想文

「技術革新が支える眼科医療」を聴講して

こんな素晴らしいお話を無料で聞けるとは、参加されなかった先生方はきっと後悔すると感じられた講演でした。開始の時点で参加者2名と少々寂しい人数でしたが、先生は全く気にする気配なく元気にお話を始められました。(後から1名追加の3名)

今回のお話は、眼科領域ではいかに技術革新が進んでいるかということでした。例えば白内障の手術に用いる眼内レンズは単焦点レンズの他に多焦点の遠近両用や乱視用のものがあること、以前はなかった折畳み式で挿入するレンズの登場では、昔は10mm切開していたところが今では2mmで可能になっているそうです。

オペに使用する機器も照明やレンズの性能の向上がめざましく、昔の硝子体手術の場合「この人、失明するんだね」と関係者

から囁かれていた時代から、40分かけて手術が終わった場合に「神の手」と言われた時代、今では20分で手術が終わっても「時間がかかったね」と言われる時代になったとのことでした。

最後の質疑応答では、少人数ならではのアットホームな雰囲気の中で受講者全員から質問があり、その中でも、アトロピンの点眼薬による近視抑制効果はまだ実験段階であること、遠方と近くを見る調節訓練には根拠がないことなどをご教授頂きました。

最後になりましたが、私自身もこのような医療の技術革新に遅れることなく、日々勉強しなければと痛感し、よい意味で身が引き締まった一日でした。

【姫路市 増田 静佳】

署名の力で「登録医制度」導入見送り

2017年の新しい会員署名にもご協力を!

昨年10月にみなさまにお願いしておりました「窓口負担増などの中止を求める要請署名」は、姫路・西播支部で84筆、兵庫県下で902筆のご協力を頂きました。この取り組みにより、「かかりつけ医」以外の受診を制限する受診時定額負担の導入など3つの要望が実現し、これらの実施は見送られました。ご協力いただいた先生方には厚く御礼申し上げます。

しかし、高齢者の高額療養費上限額引き上げなどは実施するとして具体案が示され、今年度国会にも提出されようとしています。

高齢者に狙いを定め、公的保険から遠ざける制度改悪は断じて許せません。今年度国会に向けた新たな署名へのご協力をお願いいたします。

年 月 日

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
国会議員 各位

**「高齢者泣かせの負担増」
中止を求める要請署名**

私たち医師・歯科医師は、受診抑制をもたらす患者負担増を行わないことを要望します。

一、70歳以上の患者窓口負担限度額を引き上げないこと
一、65歳以上の入院患者の光熱水費自己負担を増やさないこと
一、後期高齢者医療制度の保険料軽減特例を継続すること
一、介護保険の利用者負担を引き上げないこと

私の一言

住 所：
医療機関名：
氏 名：

支部ニュースへぜひご投稿ください

- 日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。
- ぜひご投稿ください。よろしくお祈りします。
- お問い合わせは、TEL 078-393-1807 F A X : 078-393-1820
- E-mail : kuriyama-h@doc-net.or.jp 担当事務局；栗山まで

開業医手作り 健康情報テレホンサービス
月替わり健康情報 ☎ 0120-979-451

1月のテーマ

- 月曜日 高齢者肥満に対する減量のすすめ
- 火曜日 オーラルフレイル
- 水曜日 近頃行われている痔核治療
- 木曜日 乳がんの早期発見・早期治療
- 金土日 若い人の薄毛

2月のテーマ(仮)

- 月曜日 子宮内膜症の話
- 火曜日 口内炎の話
- 水曜日 薬の副作用
- 木曜日 すい臓がんの話
- 金土日 不安神経症

